

【治安に対する意識調査】

調査期間 H30.7.13 ~ H30.7.27
回答率 82.1% 回答者数 326人

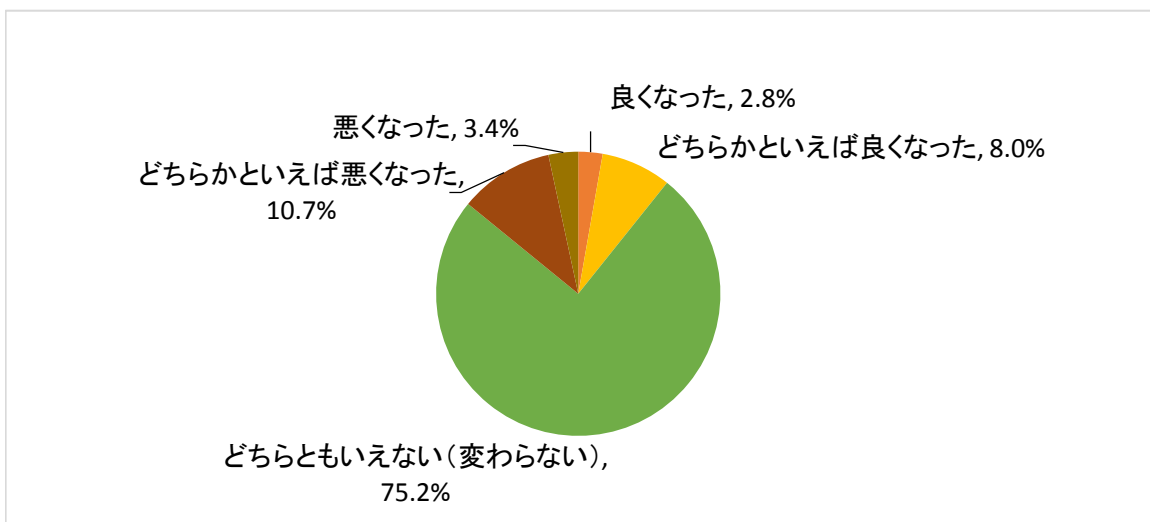
アンケートの趣旨

香川県の治安情勢は、刑法犯認知件数など数値的な指標には改善が見られますが、一方で、社会情勢の変化に伴う新たな脅威の発生が懸念されるなど、依然として予断を許さない情勢にあります。

このアンケートを通して、県民の皆さんが治安について感じている変化や警察活動への要望などを把握し、治安を更に向上させるための取り組みに反映したいと考えていますので、ご協力をお願いします。

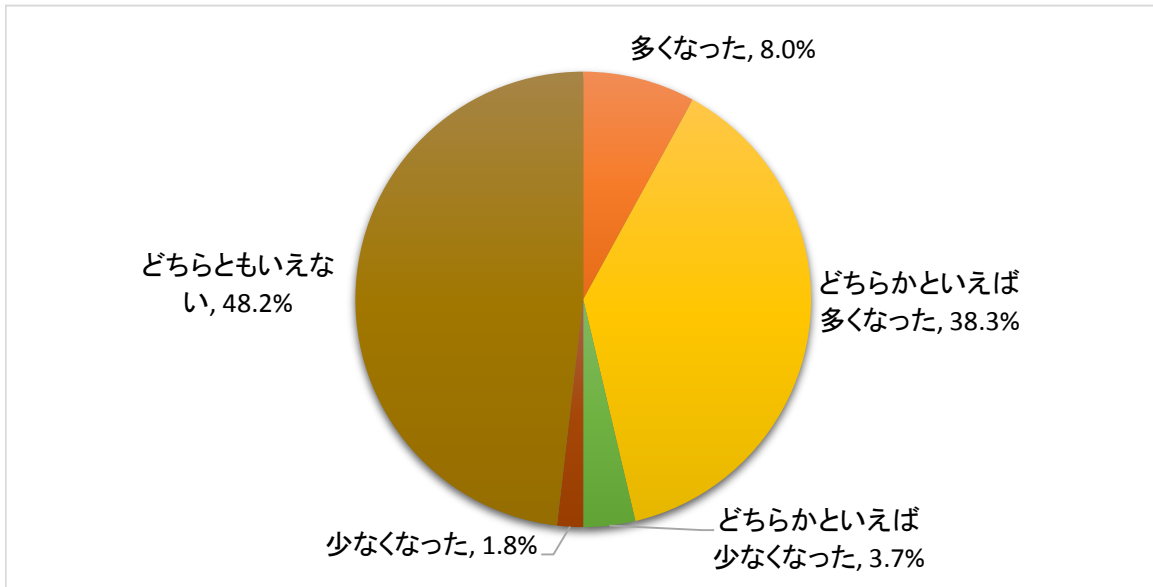
問1 あなたは、昨年と比較して、現在の香川県の治安はどうなったと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
良くなった	9	2.8%
どちらかといえば良くなった	26	8.0%
どちらともいえない(変わらない)	245	75.2%
どちらかといえば悪くなった	35	10.7%
悪くなった	11	3.4%
計	326	100.1%



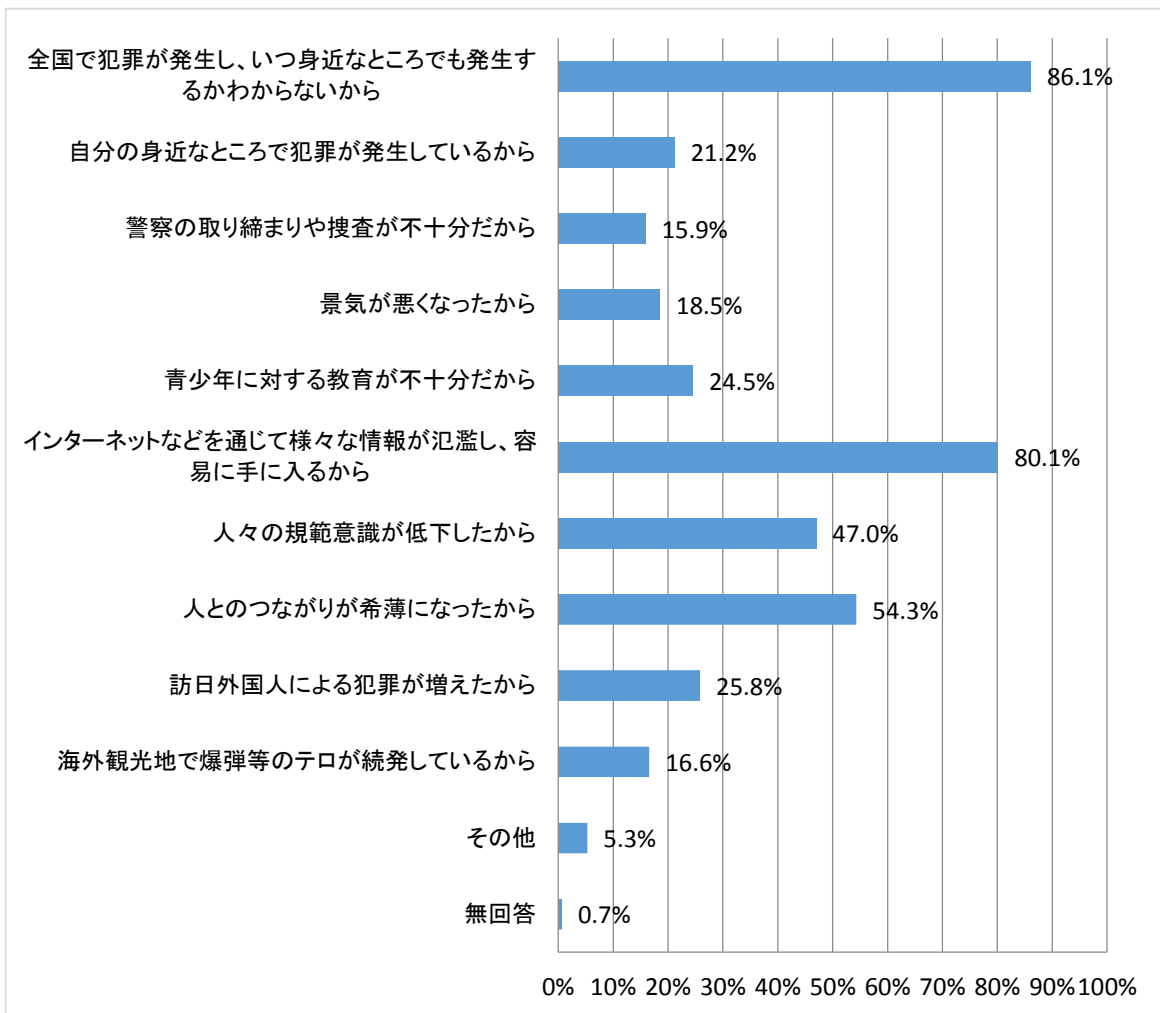
問2 ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪の被害に遭うかもしれないと不安になることが多くなりましたか、それとも少なくなりましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
多くなった	26	8.0%
どちらかといえば多くなった	125	38.3%
どちらかといえば少なくなった	12	3.7%
少なくなった	6	1.8%
どちらともいえない	157	48.2%
計	326	100.0%



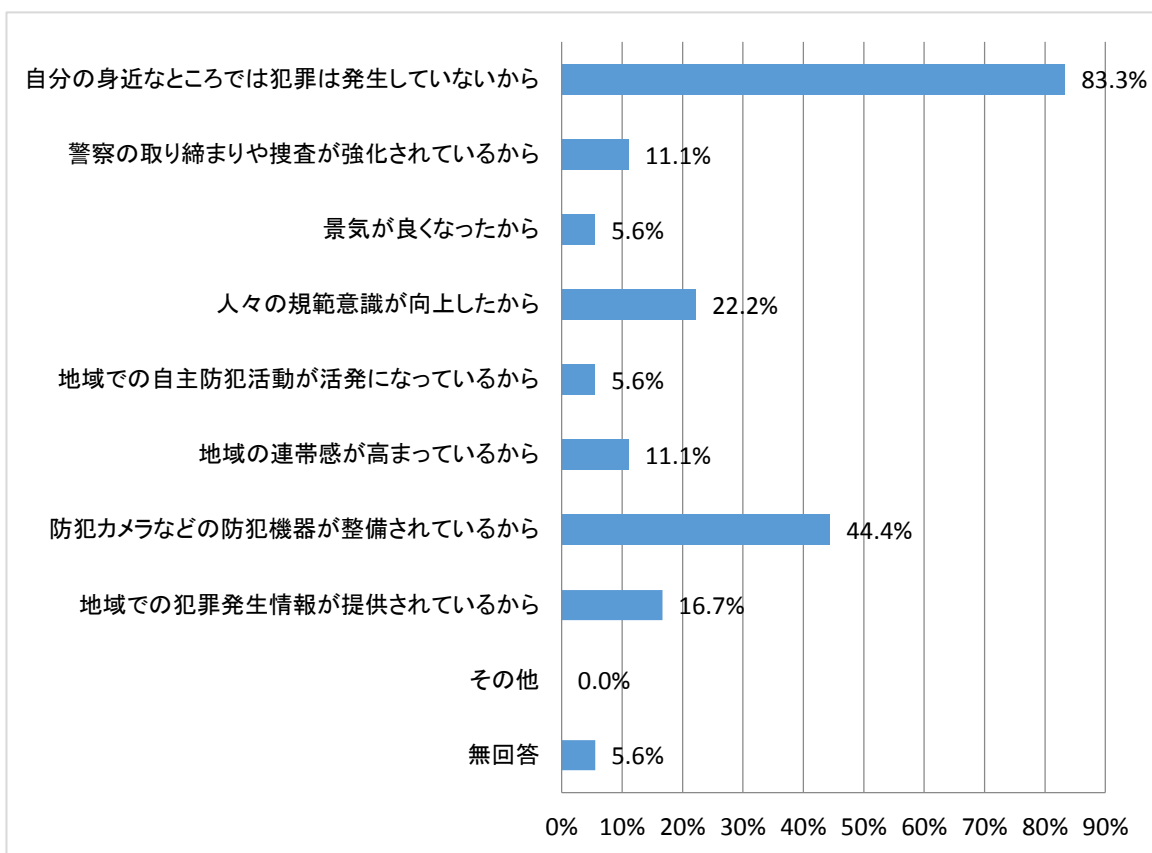
問3 問2で「1 多くなった」、「2 どちらかといえば多くなった」と答えた方にお聞きします。そう感じる原因は何だと思いませんか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
全国で犯罪が発生し、いつ身近なところでも発生するかわからないから	130	86.1%
自分の身近なところで犯罪が発生しているから	32	21.2%
警察の取り締まりや捜査が不十分だから	24	15.9%
景気が悪くなったから	28	18.5%
青少年に対する教育が不十分だから	37	24.5%
インターネットなどを通じて様々な情報が氾濫し、容易に手に入るから	121	80.1%
人々の規範意識が低下したから	71	47.0%
人とのつながりが希薄になったから	82	54.3%
訪日外国人による犯罪が増えたから	39	25.8%
海外観光地で爆弾等のテロが続発しているから	25	16.6%
その他	8	5.3%
無回答	1	0.7%



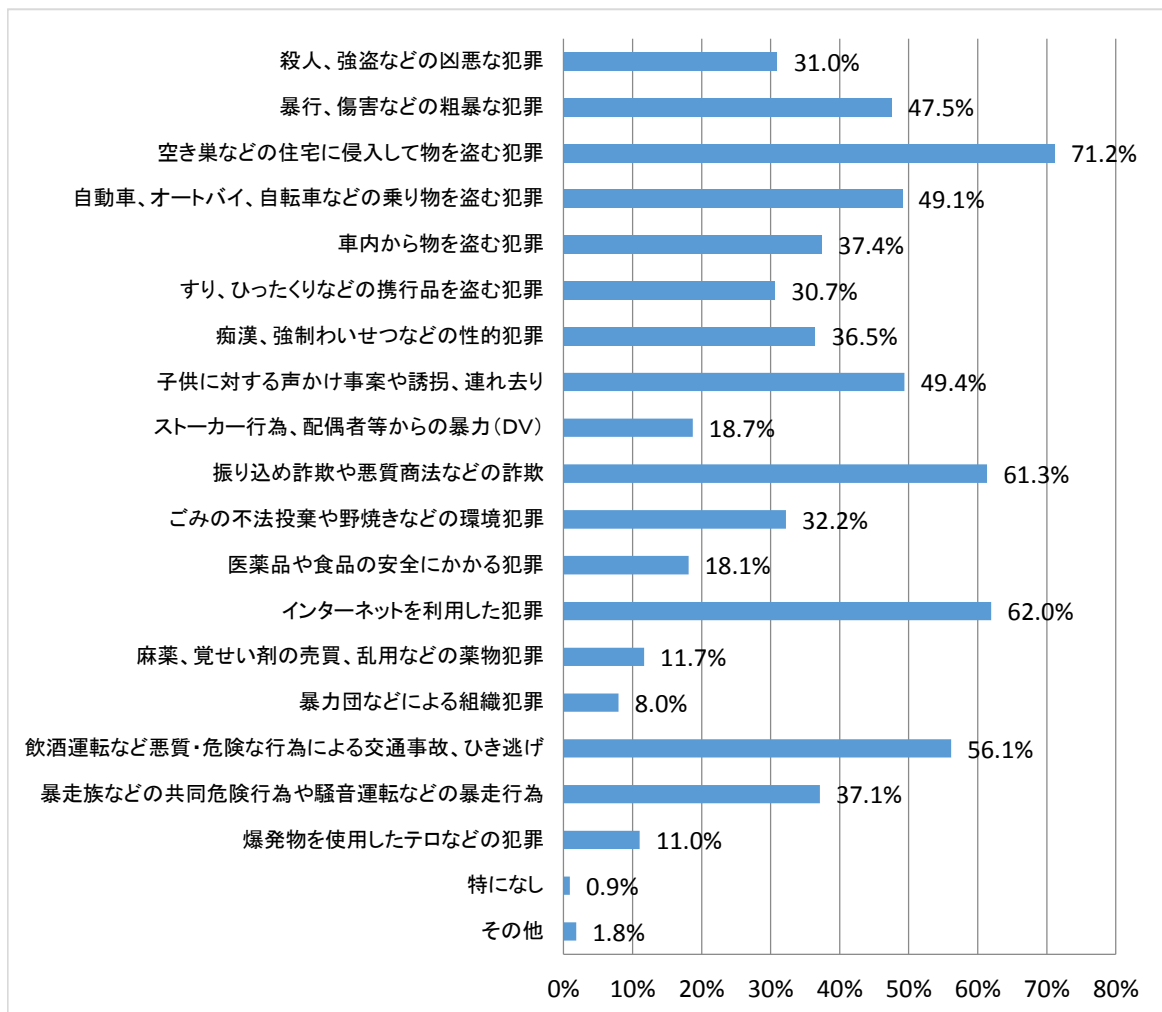
問4 問2で「3 どちらかといえば少なくなった」、「4 少なくなった」と答えた方にお聞きします。そう感じる原因は何だと思えますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
自分の身近なところでは犯罪は発生していないから	15	83.3%
警察の取り締まりや捜査が強化されているから	2	11.1%
景気が良くなったから	1	5.6%
人々の規範意識が向上したから	4	22.2%
地域での自主防犯活動が活発になっているから	1	5.6%
地域の連帯感が高まっているから	2	11.1%
防犯カメラなどの防犯機器が整備されているから	8	44.4%
地域での犯罪発生情報が提供されているから	3	16.7%
その他	0	0.0%
無回答	1	5.6%



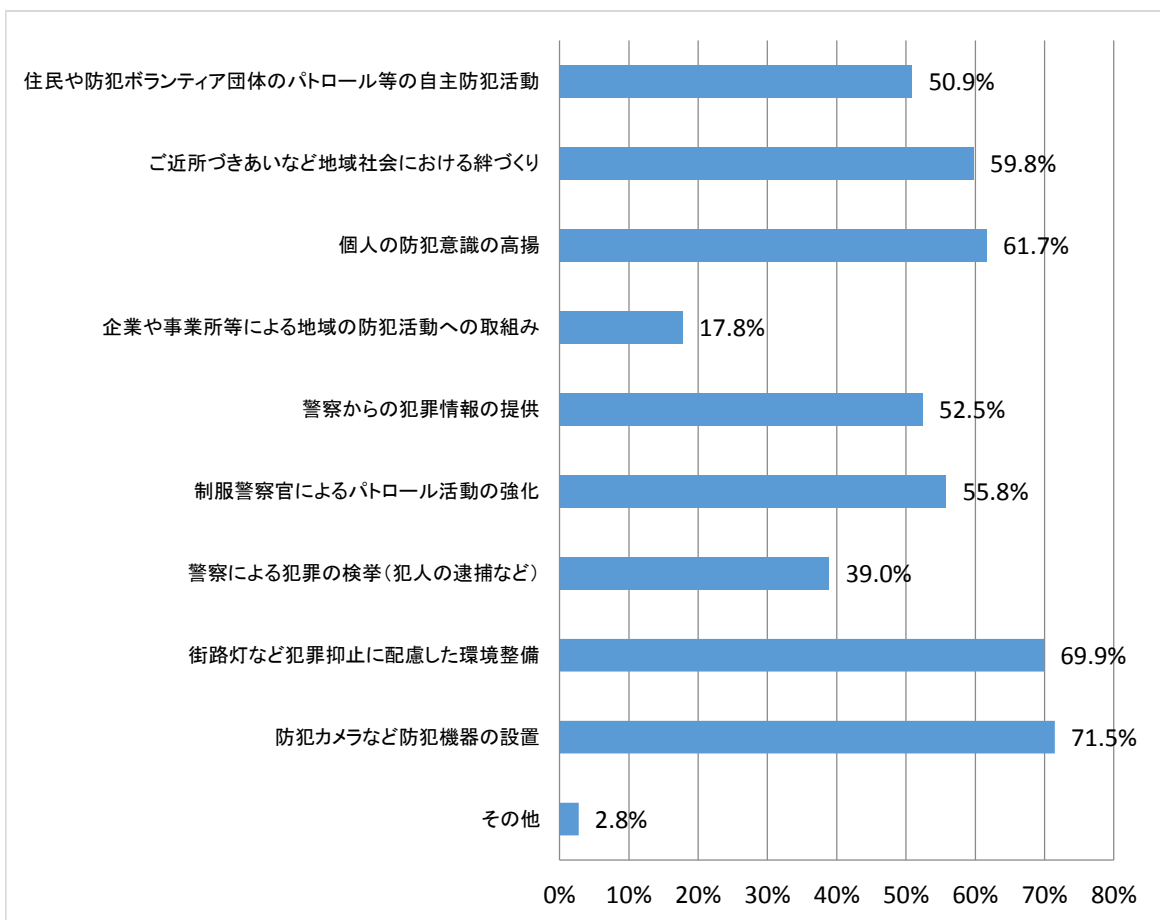
問5 ここからは全員の方にお聞きします。
 あなたが、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安に感じるのはどのような犯罪ですか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
殺人、強盗などの凶悪な犯罪	101	31.0%
暴行、傷害などの粗暴な犯罪	155	47.5%
空き巣などの住宅に侵入して物を盗む犯罪	232	71.2%
自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪	160	49.1%
車内から物を盗む犯罪	122	37.4%
すり、ひったくりなどの携行品を盗む犯罪	100	30.7%
痴漢、強制わいせつなどの性的犯罪	119	36.5%
子供に対する声かけ事案や誘拐、連れ去り	161	49.4%
ストーカー行為、配偶者等からの暴力(DV)	61	18.7%
振り込め詐欺や悪質商法などの詐欺	200	61.3%
ごみの不法投棄や野焼きなどの環境犯罪	105	32.2%
医薬品や食品の安全にかかる犯罪	59	18.1%
インターネットを利用した犯罪	202	62.0%
麻薬、覚せい剤の売買、乱用などの薬物犯罪	38	11.7%
暴力団などによる組織犯罪	26	8.0%
飲酒運転など悪質・危険な行為による交通事故、ひき逃げ	183	56.1%
暴走族などの共同危険行為や騒音運転などの暴走行為	121	37.1%
爆発物を使用したテロなどの犯罪	36	11.0%
特になし	3	0.9%
その他	6	1.8%



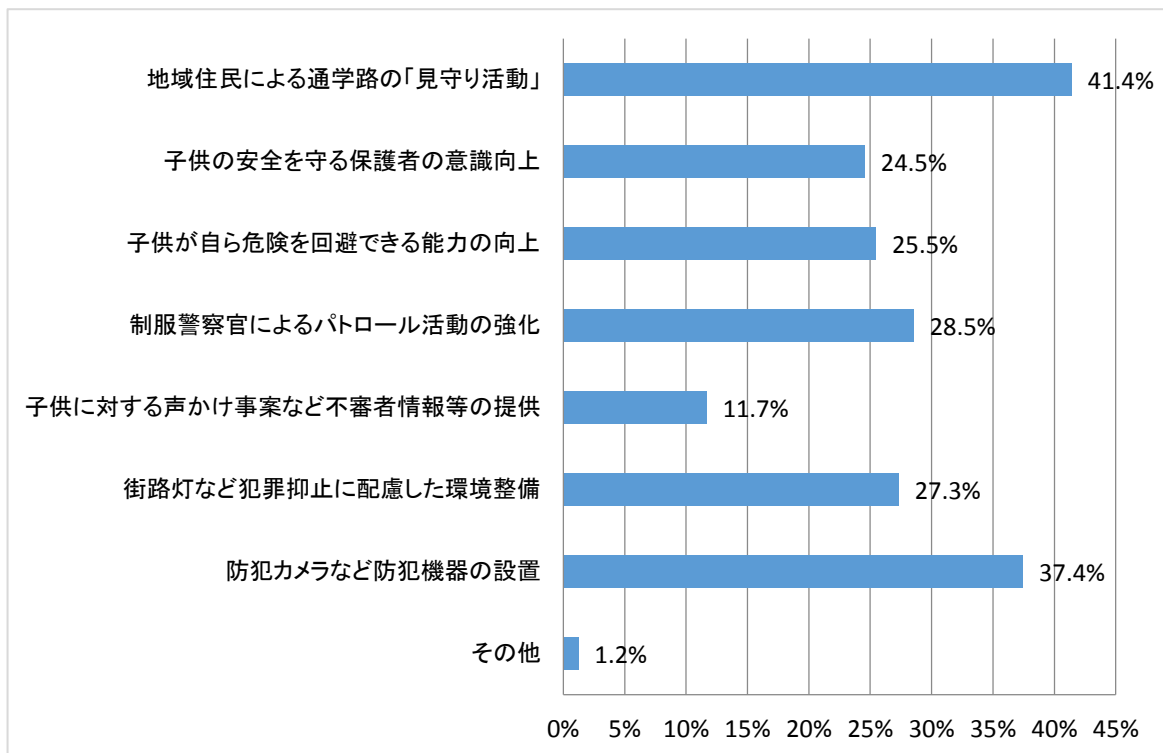
問6 犯罪の起きにくい社会づくりのために、特に重要なものは何だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
住民や防犯ボランティア団体のパトロール等の自主防犯活動	166	50.9%
ご近所つきあいなど地域社会における絆づくり	195	59.8%
個人の防犯意識の高揚	201	61.7%
企業や事業所等による地域の防犯活動への取組み	58	17.8%
警察からの犯罪情報の提供	171	52.5%
制服警察官によるパトロール活動の強化	182	55.8%
警察による犯罪の検挙(犯人の逮捕など)	127	39.0%
街路灯など犯罪抑止に配慮した環境整備	228	69.9%
防犯カメラなど防犯機器の設置	233	71.5%
その他	9	2.8%



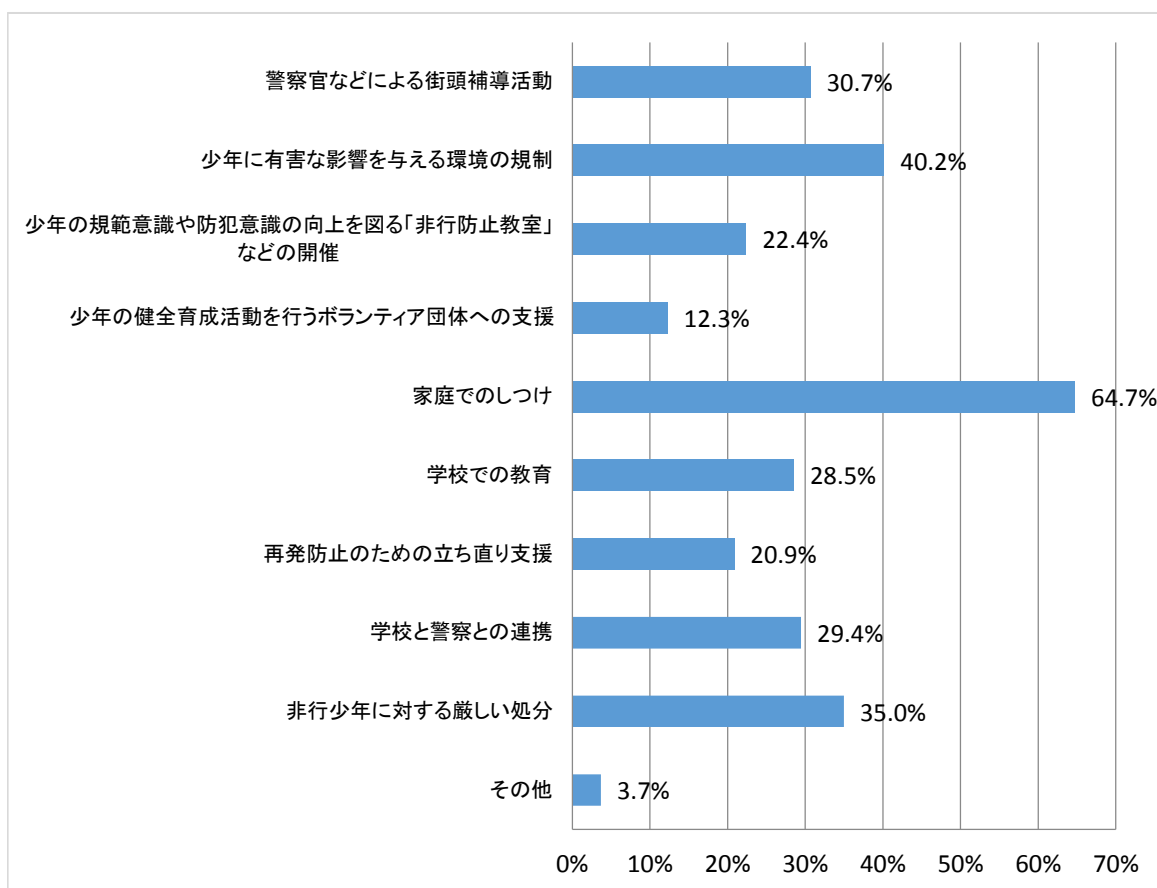
問7 子供の安全を守るため、もっと強化すべき対策は何だと思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
地域住民による通学路の「見守り活動」	135	41.4%
子供の安全を守る保護者の意識向上	80	24.5%
子供が自ら危険を回避できる能力の向上	83	25.5%
制服警察官によるパトロール活動の強化	93	28.5%
子供に対する声かけ事案など不審者情報等の提供	38	11.7%
街路灯など犯罪抑止に配慮した環境整備	89	27.3%
防犯カメラなど防犯機器の設置	122	37.4%
その他	4	1.2%



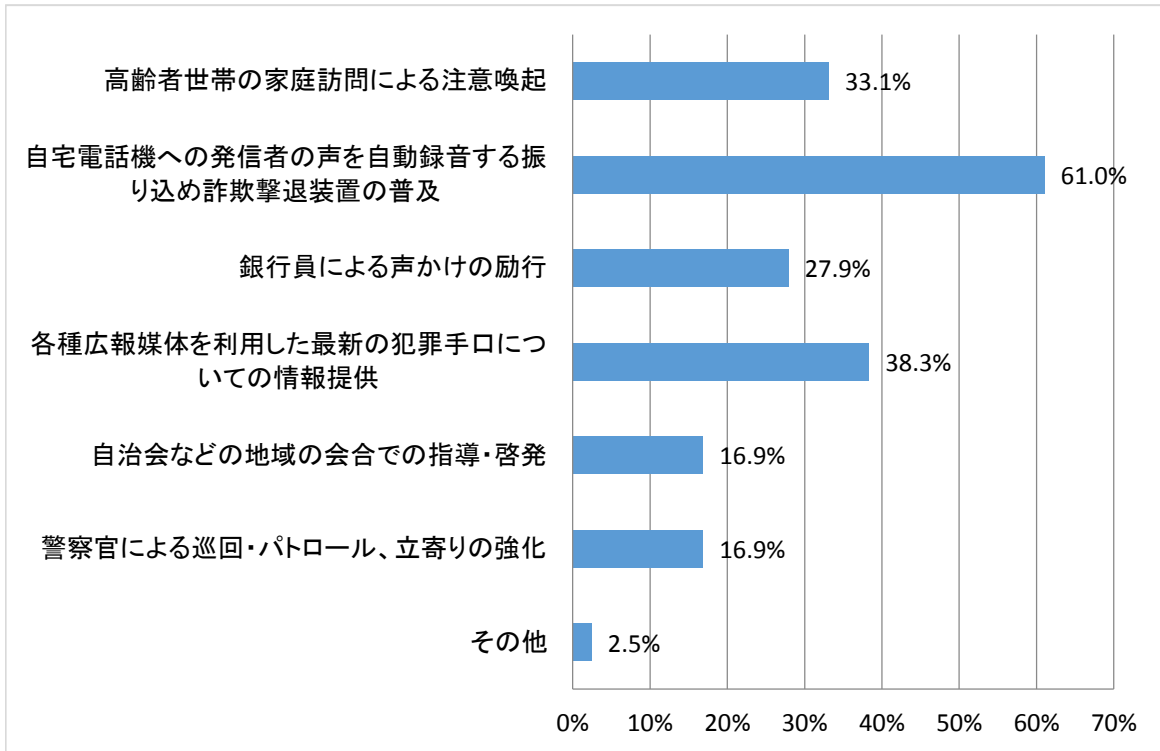
問8 少年非行を防止するため、もっと強化すべき対策は何だと思えますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
警察官などによる街頭補導活動	100	30.7%
少年に有害な影響を与える環境の規制	131	40.2%
少年の規範意識や防犯意識の向上を図る「非行防止教室」などの開催	73	22.4%
少年の健全育成活動を行うボランティア団体への支援	40	12.3%
家庭でのしつけ	211	64.7%
学校での教育	93	28.5%
再発防止のための立ち直り支援	68	20.9%
学校と警察との連携	96	29.4%
非行少年に対する厳しい処分	114	35.0%
その他	12	3.7%



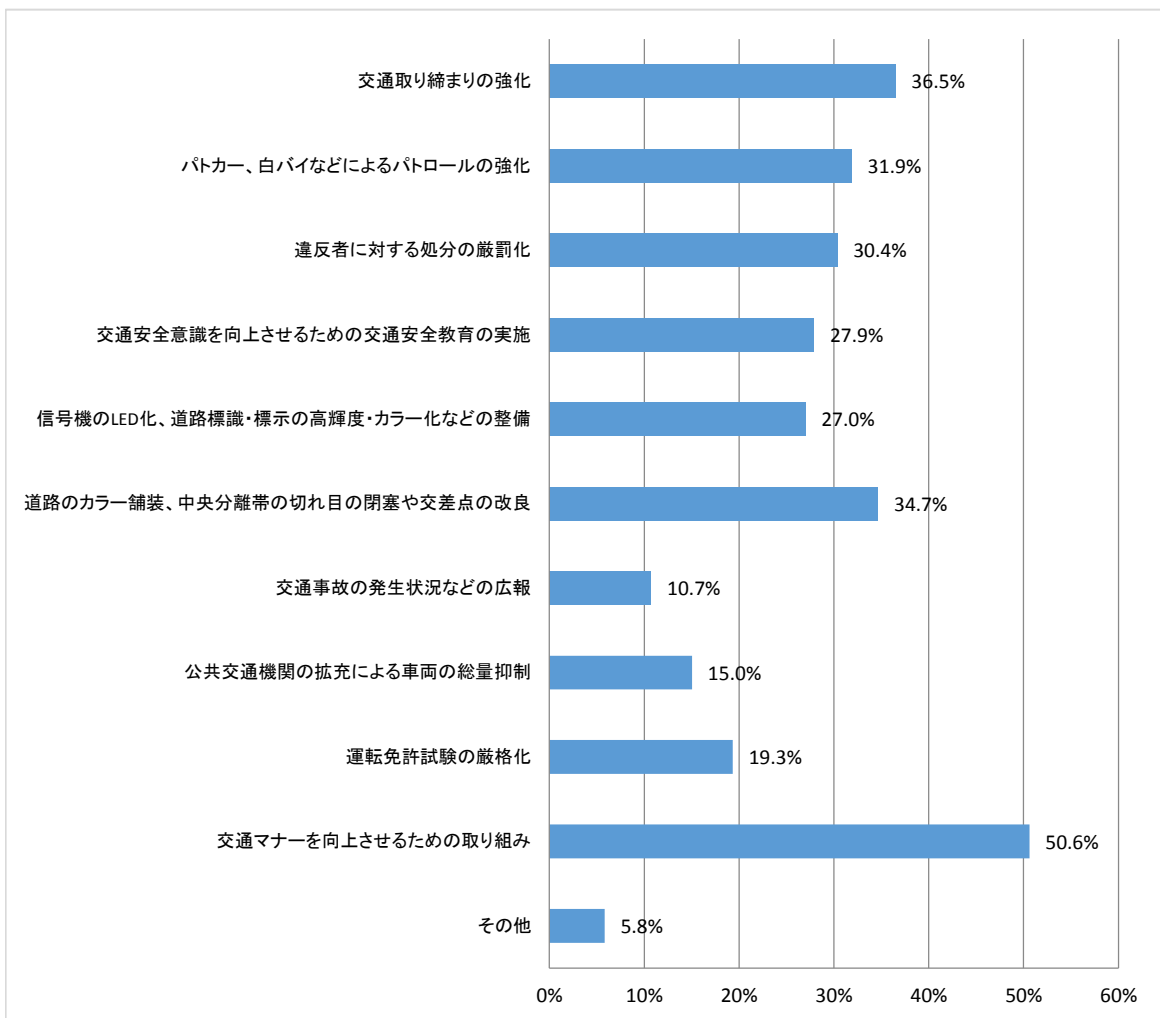
問9 振り込め詐欺などの被害を防ぐため、もっと強化すべき対策は何だと思えますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
高齢者世帯の家庭訪問による注意喚起	108	33.1%
自宅電話機への発信者の声を自動録音する振り込め詐欺撃退装置の普及	199	61.0%
銀行員による声かけの励行	91	27.9%
各種広報媒体を利用した最新の犯罪手口についての情報提供	125	38.3%
自治会などの地域の会合での指導・啓発	55	16.9%
警察官による巡回・パトロール、立寄りの強化	55	16.9%
その他	8	2.5%



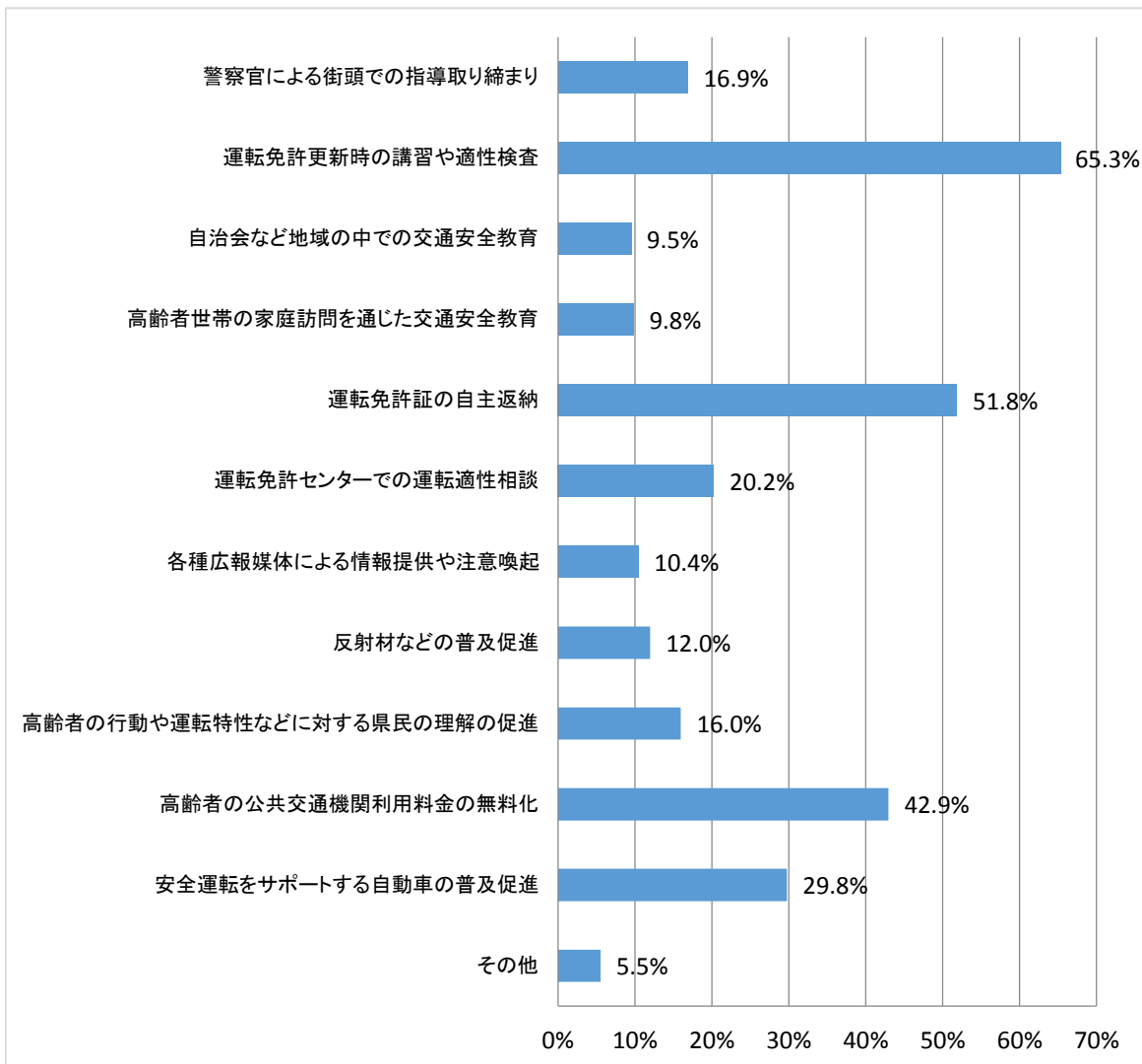
問10 交通事故を防ぐために、特に重要な対策は何だと思えますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
交通取り締まりの強化	119	36.5%
パトカー、白バイなどによるパトロールの強化	104	31.9%
違反者に対する処分の厳罰化	99	30.4%
交通安全意識を向上させるための交通安全教育の実施	91	27.9%
信号機のLED化、道路標識・標示の高輝度・カラー化などの整備	88	27.0%
道路のカラー舗装、中央分離帯の切れ目の閉塞や交差点の改良	113	34.7%
交通事故の発生状況などの広報	35	10.7%
公共交通機関の拡充による車両の総量抑制	49	15.0%
運転免許試験の厳格化	63	19.3%
交通マナーを向上させるための取り組み	165	50.6%
その他	19	5.8%



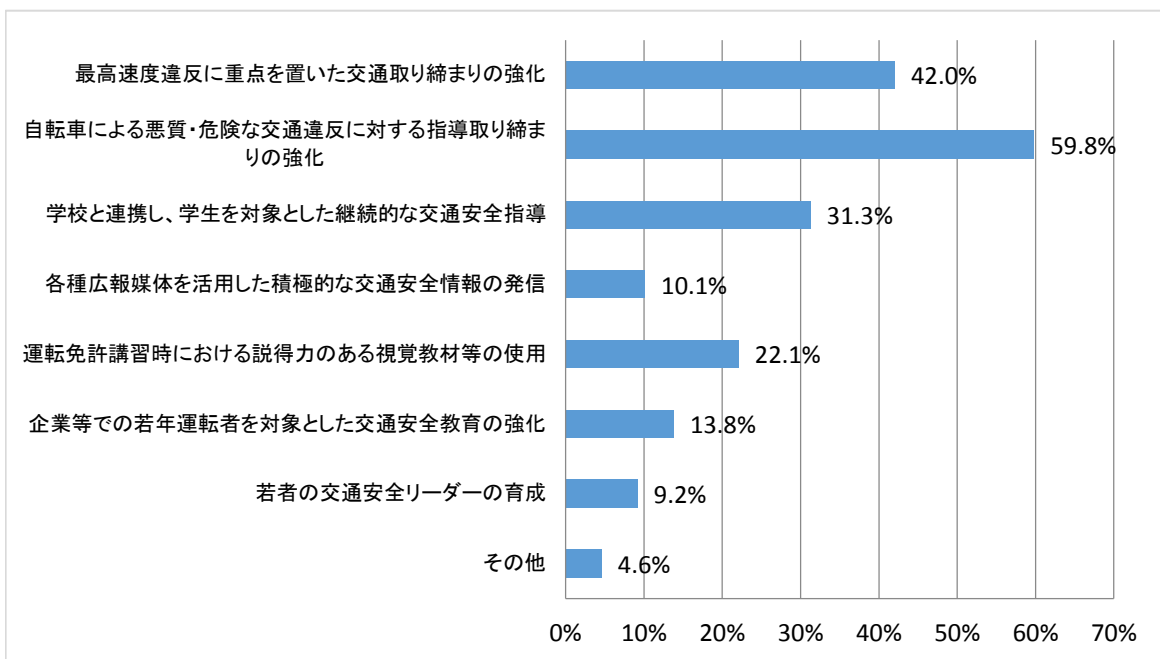
問11 高齢者の交通事故を防ぐために、効果的な対策は何だと思えますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
警察官による街頭での指導取り締まり	55	16.9%
運転免許更新時の講習や適性検査	213	65.3%
自治会など地域の中での交通安全教育	31	9.5%
高齢者世帯の家庭訪問を通じた交通安全教育	32	9.8%
運転免許証の自主返納	169	51.8%
運転免許センターでの運転適性相談	66	20.2%
各種広報媒体による情報提供や注意喚起	34	10.4%
反射材などの普及促進	39	12.0%
高齢者の行動や運転特性などに対する県民の理解の促進	52	16.0%
高齢者の公共交通機関利用料金の無料化	140	42.9%
安全運転をサポートする自動車の普及促進	97	29.8%
その他	18	5.5%



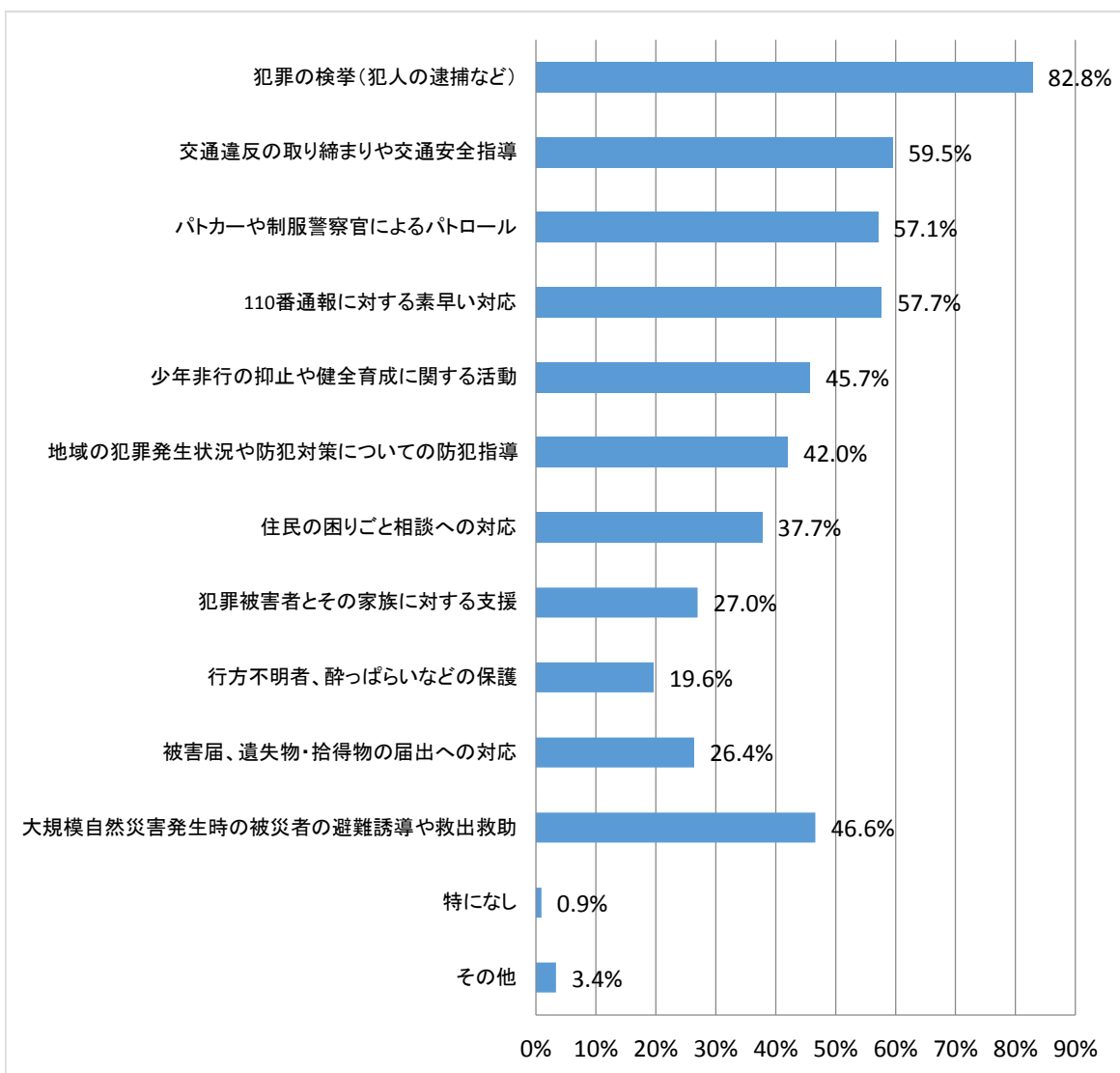
問12 若者の交通事故を防ぐために、効果的な対策は何だと思えますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
最高速度違反に重点を置いた交通取り締まりの強化	137	42.0%
自転車による悪質・危険な交通違反に対する指導取り締まりの強化	195	59.8%
学校と連携し、学生を対象とした継続的な交通安全指導	102	31.3%
各種広報媒体を活用した積極的な交通安全情報の発信	33	10.1%
運転免許講習時における説得力のある視覚教材等の使用	72	22.1%
企業等での若年運転者を対象とした交通安全教育の強化	45	13.8%
若者の交通安全リーダーの育成	30	9.2%
その他	15	4.6%



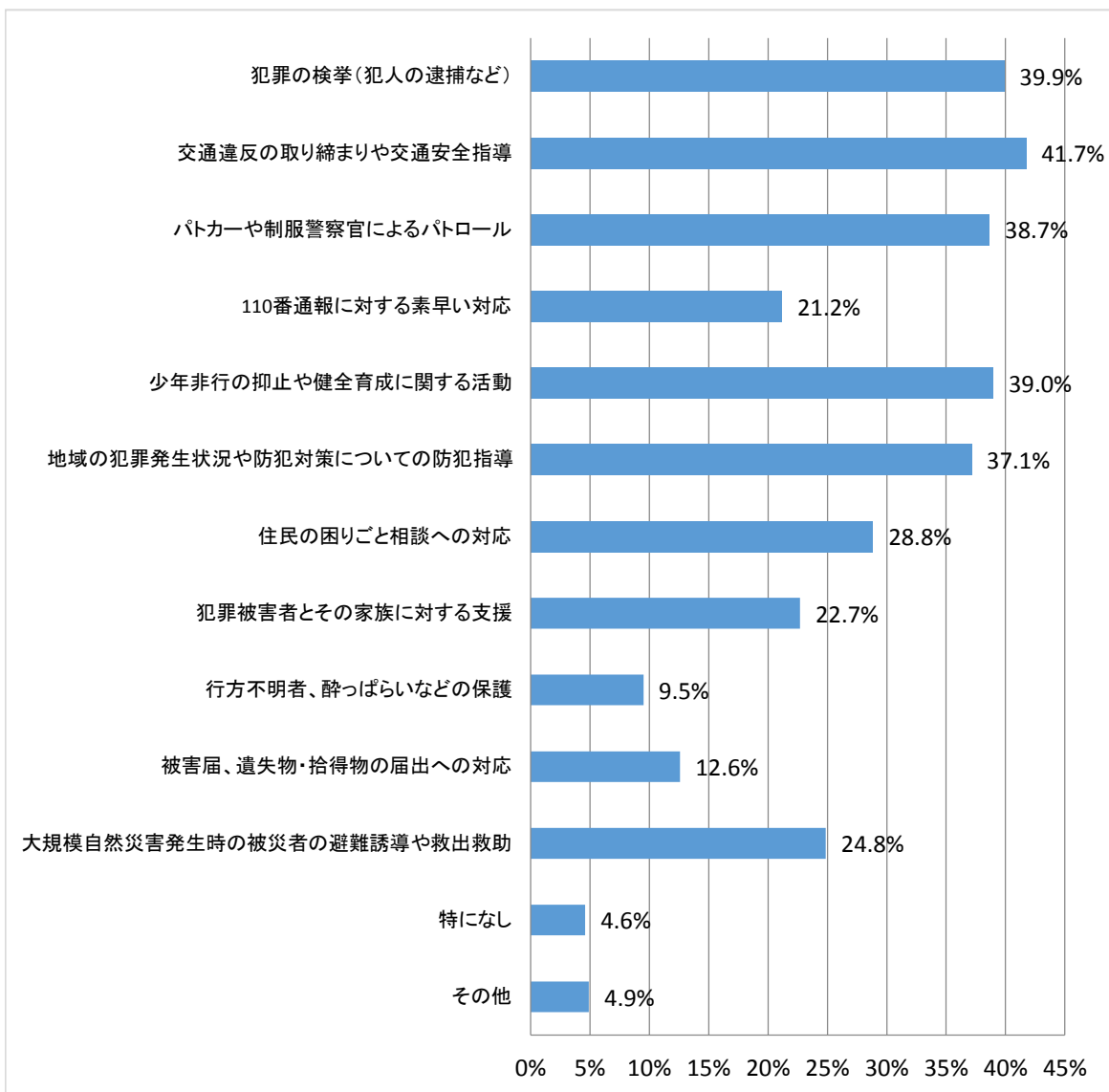
問13 あなたは、警察の業務の中で、特に重要な活動は何だと思えますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
犯罪の検挙(犯人の逮捕など)	270	82.8%
交通違反の取り締まりや交通安全指導	194	59.5%
パトカーや制服警察官によるパトロール	186	57.1%
110番通報に対する素早い対応	188	57.7%
少年非行の抑止や健全育成に関する活動	149	45.7%
地域の犯罪発生状況や防犯対策についての防犯指導	137	42.0%
住民の困りごと相談への対応	123	37.7%
犯罪被害者とその家族に対する支援	88	27.0%
行方不明者、酔っぱらいなどの保護	64	19.6%
被害届、遺失物・拾得物の届出への対応	86	26.4%
大規模自然災害発生時の被災者の避難誘導や救出救助	152	46.6%
特になし	3	0.9%
その他	11	3.4%



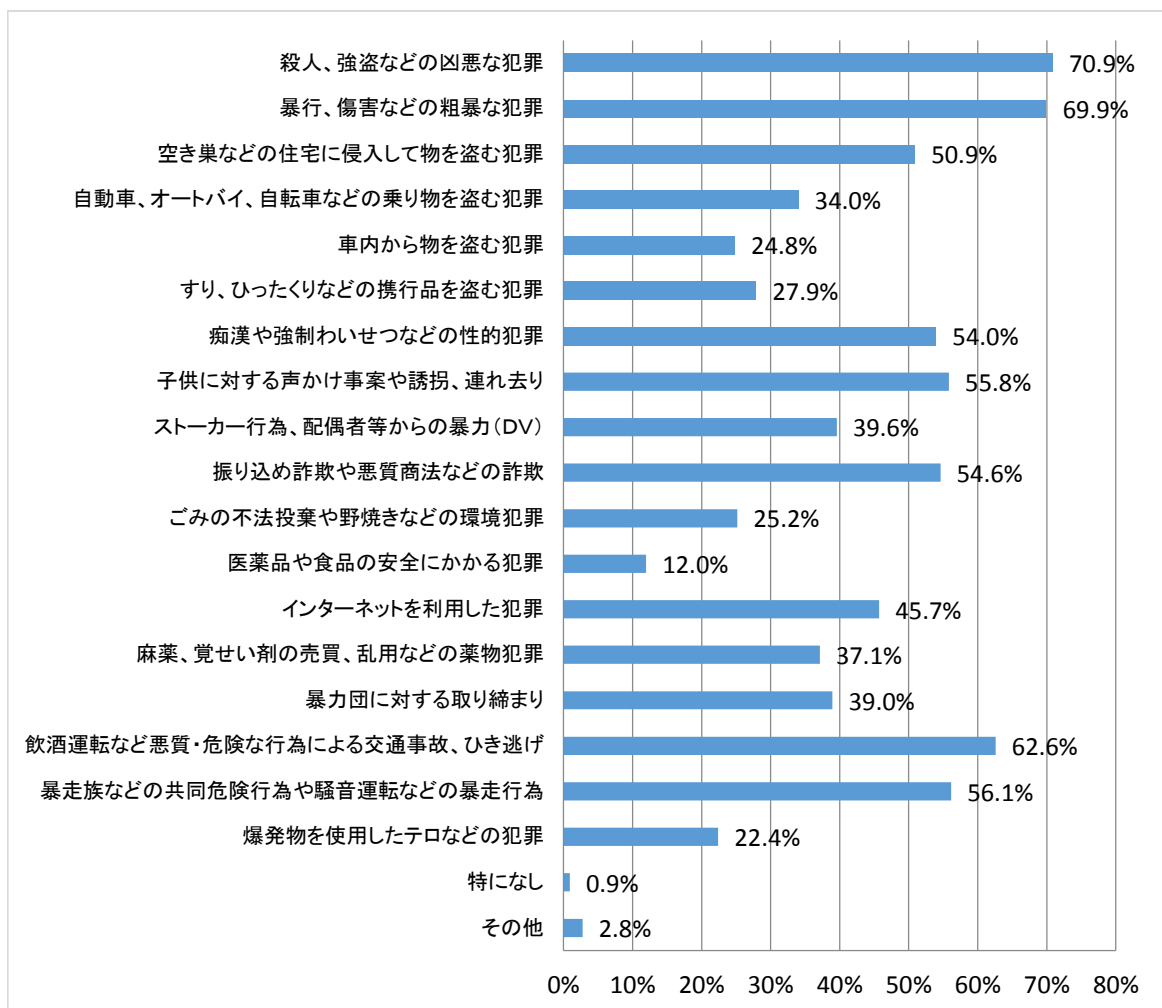
問14 あなたが、警察の業務の中で、現状ではもの足りない、今後特に力を入れてほしいと思う活動は何ですか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
犯罪の検挙(犯人の逮捕など)	130	39.9%
交通違反の取り締まりや交通安全指導	136	41.7%
パトカーや制服警察官によるパトロール	126	38.7%
110番通報に対する素早い対応	69	21.2%
少年非行の抑止や健全育成に関する活動	127	39.0%
地域の犯罪発生状況や防犯対策についての防犯指導	121	37.1%
住民の困りごと相談への対応	94	28.8%
犯罪被害者とその家族に対する支援	74	22.7%
行方不明者、酔っぱらいなどの保護	31	9.5%
被害届、遺失物・拾得物の届出への対応	41	12.6%
大規模自然災害発生時の被災者の避難誘導や救出救助	81	24.8%
特になし	15	4.6%
その他	16	4.9%



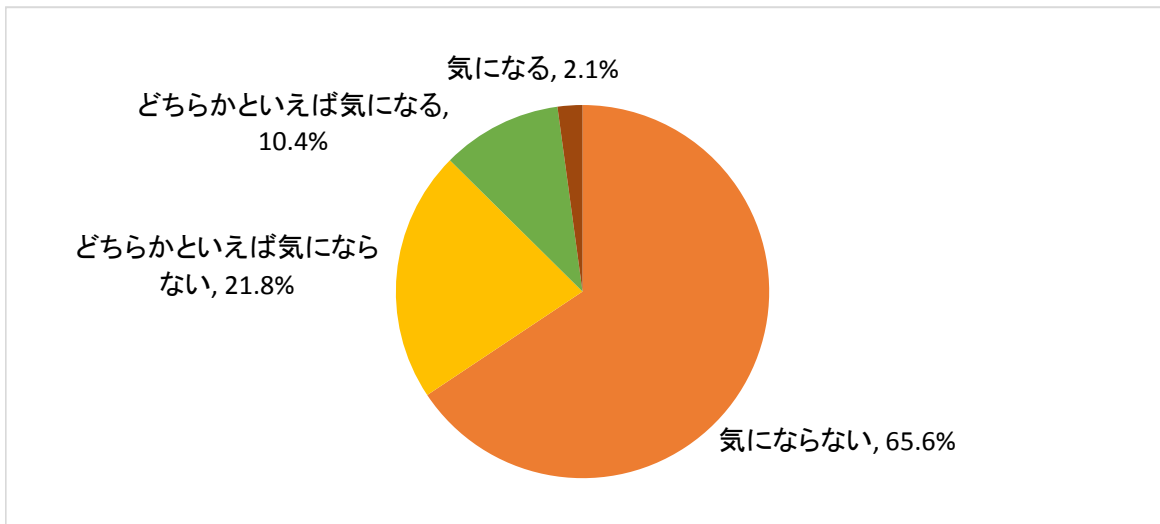
問15 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪は何ですか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
殺人、強盗などの凶悪な犯罪	231	70.9%
暴行、傷害などの粗暴な犯罪	228	69.9%
空き巣などの住宅に侵入して物を盗む犯罪	166	50.9%
自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪	111	34.0%
車内から物を盗む犯罪	81	24.8%
すり、ひったくりなどの携行物を盗む犯罪	91	27.9%
痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪	176	54.0%
子供に対する声かけ事案や誘拐、連れ去り	182	55.8%
ストーカー行為、配偶者等からの暴力(DV)	129	39.6%
振り込め詐欺や悪質商法などの詐欺	178	54.6%
ごみの不法投棄や野焼きなどの環境犯罪	82	25.2%
医薬品や食品の安全にかかる犯罪	39	12.0%
インターネットを利用した犯罪	149	45.7%
麻薬、覚せい剤の売買、乱用などの薬物犯罪	121	37.1%
暴力団に対する取り締まり	127	39.0%
飲酒運転など悪質・危険な行為による交通事故、ひき逃げ	204	62.6%
暴走族などの共同危険行為や騒音運転などの暴走行為	183	56.1%
爆発物を使用したテロなどの犯罪	73	22.4%
特になし	3	0.9%
その他	9	2.8%



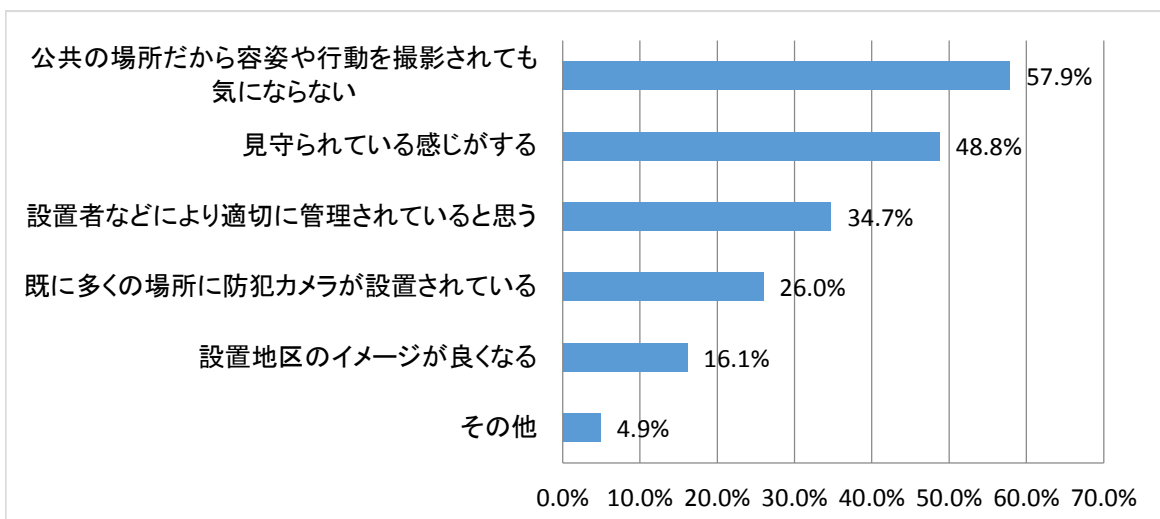
問16 屋外の公共の場所に防犯カメラを設置することについて、どのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
気にならない	214	65.6%
どちらかといえば気にならない	71	21.8%
どちらかといえば気になる	34	10.4%
気になる	7	2.1%
計	326	99.9%



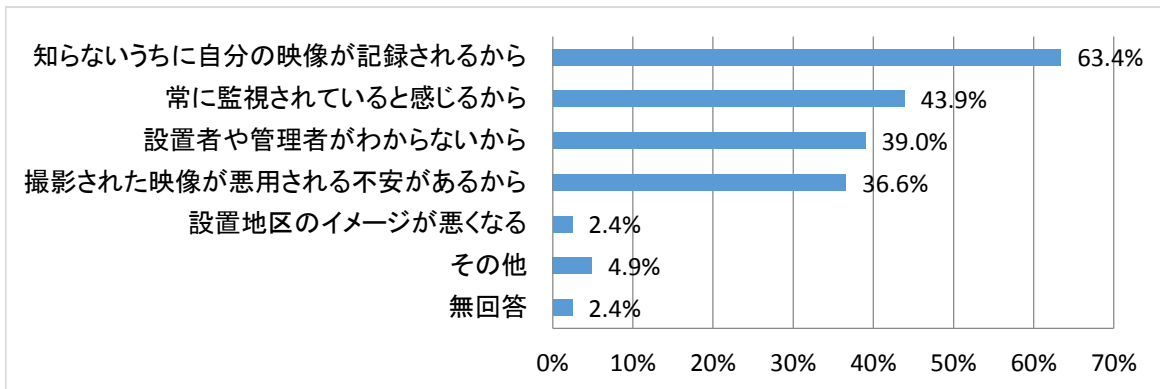
問17 問16で「1 気にならない」、「2 どちらかといえば気にならない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまるものを2つまで選んでください。

回答者数	285	
選択肢	回答者数	構成比
公共の場所だから容姿や行動を撮影されても気にならない	165	57.9%
見守られている感じがする	139	48.8%
設置者などにより適切に管理されていると思う	99	34.7%
既に多くの場所に防犯カメラが設置されている	74	26.0%
設置地区のイメージが良くなる	46	16.1%
その他	14	4.9%



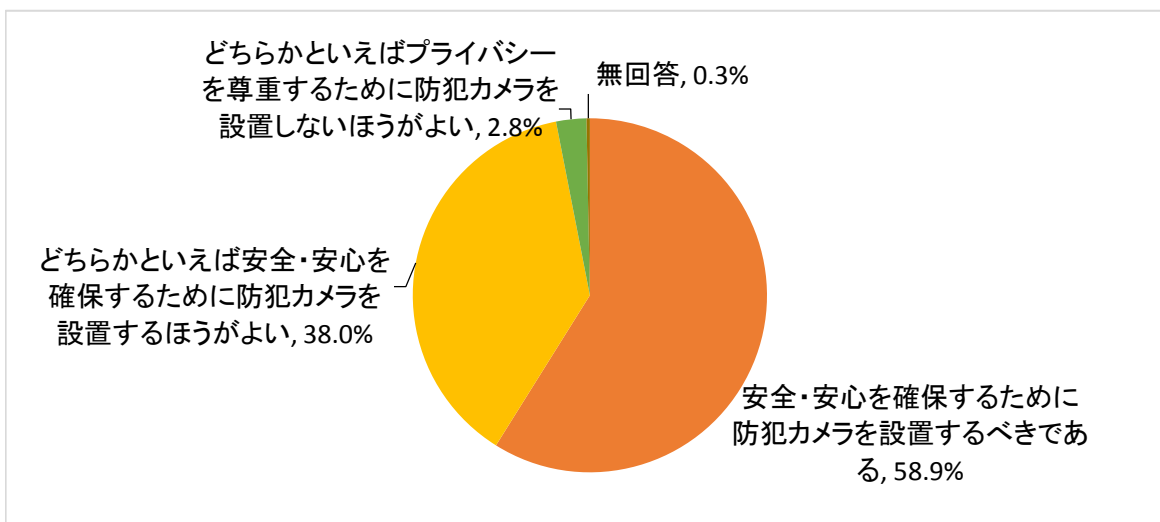
問18 問16で「3 どちらかといえば気になる」、「4 気になる」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
知らないうちに自分の映像が記録されるから	26	63.4%
常に監視されていると感じるから	18	43.9%
設置者や管理者がわからないから	16	39.0%
撮影された映像が悪用される不安があるから	15	36.6%
設置地区のイメージが悪くなる	1	2.4%
その他	2	4.9%
無回答	1	2.4%



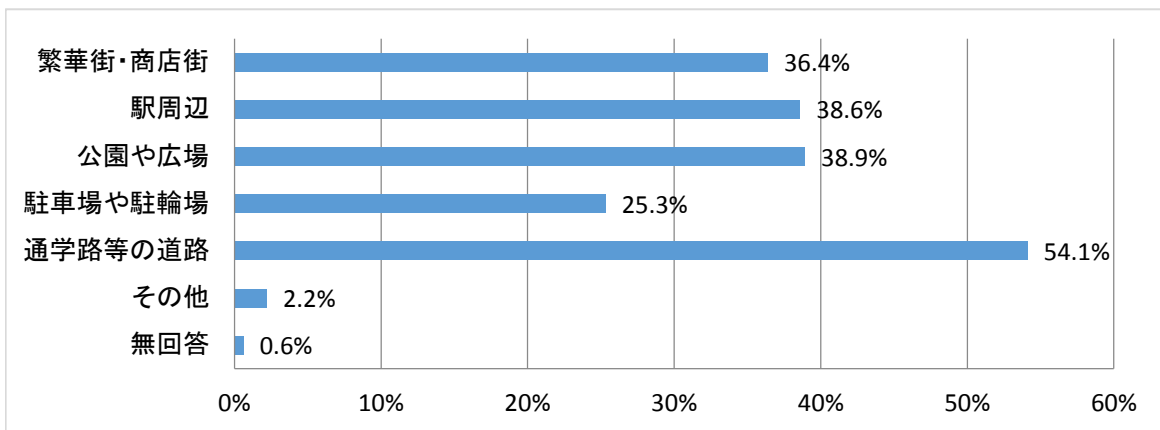
問19 全員の方にお聞きします。公園や路上など屋外の公共の場所の安全・安心を確保するために防犯カメラを設置すること、個人のプライバシーを尊重するために防犯カメラを設置しないことを比べて、どちらの方針を支持しますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
安全・安心を確保するために防犯カメラを設置するべきである	192	58.9%
どちらかといえば安全・安心を確保するために防犯カメラを設置するほうがよい	124	38.0%
どちらかといえばプライバシーを尊重するために防犯カメラを設置しないほうがよい	9	2.8%
プライバシーを尊重するために防犯カメラを設置するべきでない	0	0.0%
無回答	1	0.3%
計	326	100.0%



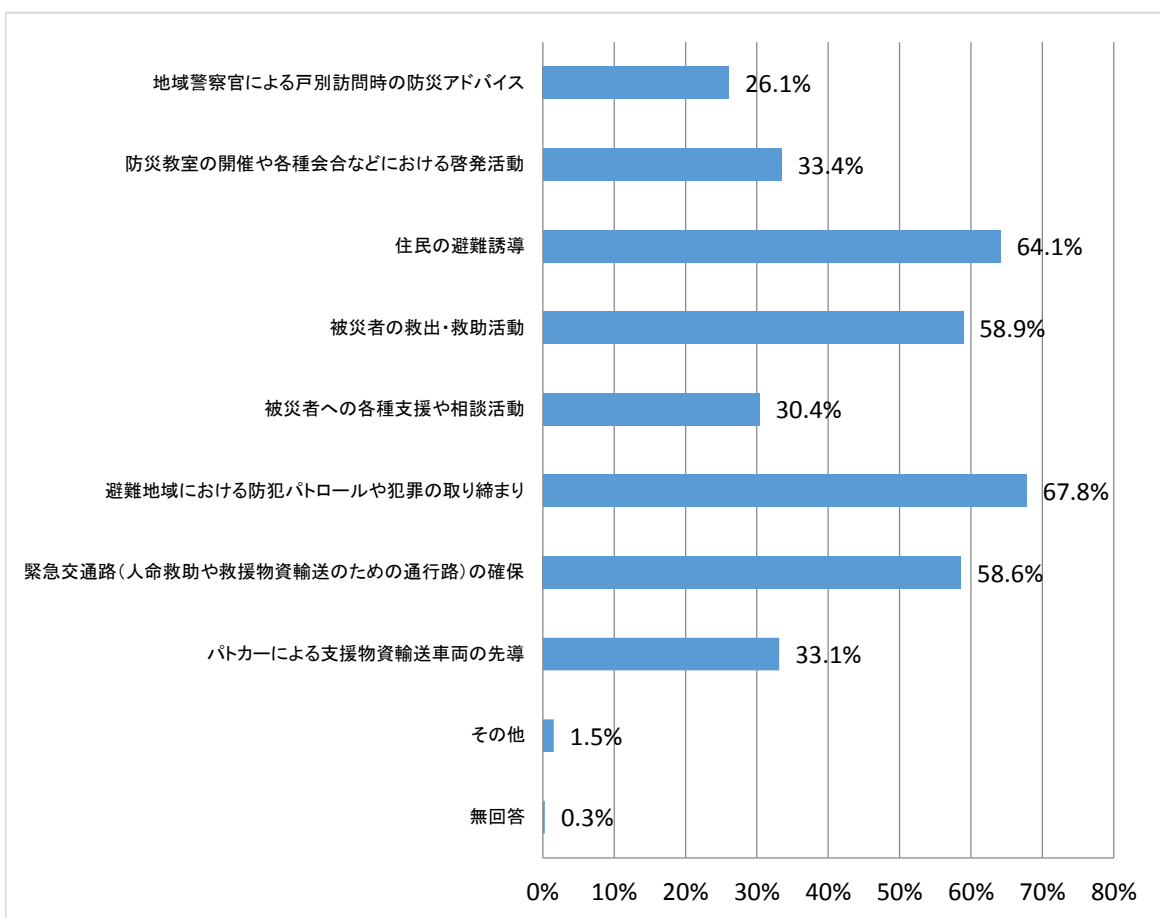
問20 問19で「1 安全・安心を確保するために防犯カメラを設置すべきである」、「2 どちらかといえば安全・安心を確保するために防犯カメラを設置するほうがよい」と答えた方にお聞きします。どのような場所に防犯カメラを設置すれば効果があると思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 316	
	回答者数	構成比
繁華街・商店街	115	36.4%
駅周辺	122	38.6%
公園や広場	123	38.9%
駐車場や駐輪場	80	25.3%
通学路等の道路	171	54.1%
その他	7	2.2%
無回答	2	0.6%



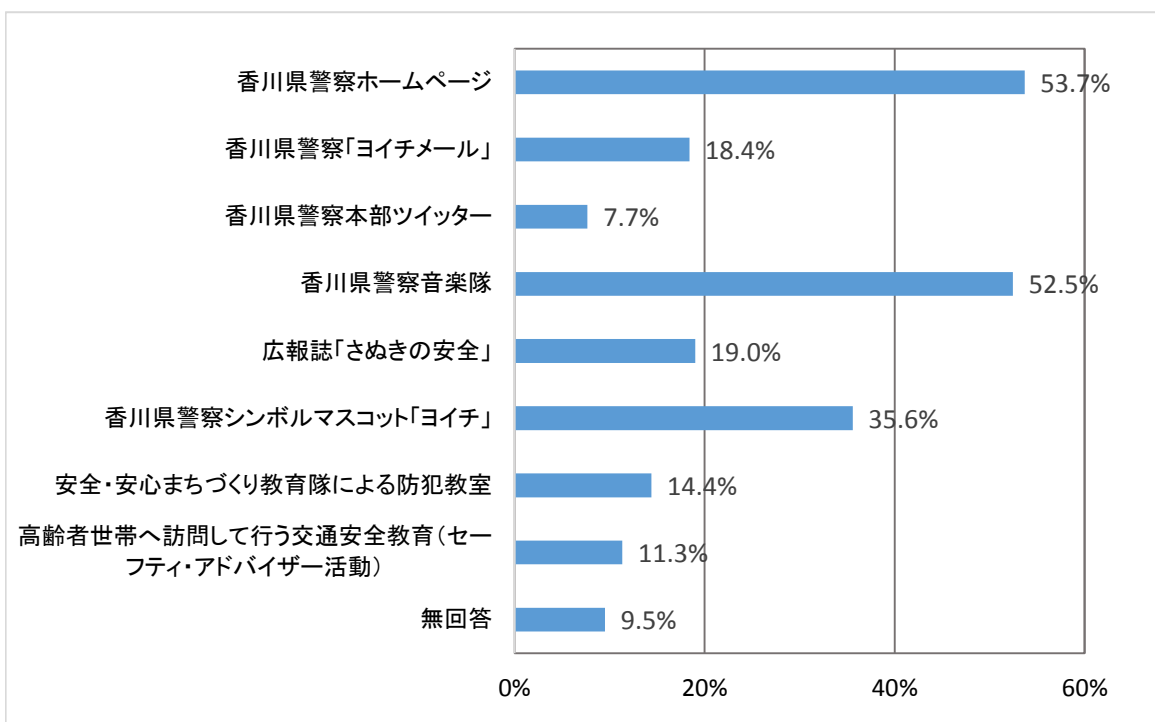
問21 各種災害から県民を守るため、特に警察に期待する活動は何ですか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
地域警察官による戸別訪問時の防災アドバイス	85	26.1%
防災教室の開催や各種会合などにおける啓発活動	109	33.4%
住民の避難誘導	209	64.1%
被災者の救出・救助活動	192	58.9%
被災者への各種支援や相談活動	99	30.4%
避難地域における防犯パトロールや犯罪の取り締まり	221	67.8%
緊急交通路(人命救助や救援物資輸送のための通路)の確保	191	58.6%
パトカーによる支援物資輸送車両の先導	108	33.1%
その他	5	1.5%
無回答	1	0.3%



問22 香川県警察が活用している広報媒体や広報活動のうち、知っているものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答者数 326	
	回答者数	構成比
香川県警察ホームページ	175	53.7%
香川県警察「ヨイチメール」	60	18.4%
香川県警察本部ツイッター	25	7.7%
香川県警察音楽隊	171	52.5%
広報誌「さぬきの安全」	62	19.0%
香川県警察シンボルマスコット「ヨイチ」	116	35.6%
安全・安心まちづくり教育隊による防犯教室	47	14.4%
高齢者世帯へ訪問して行う交通安全教育(セーフティ・アドバイザー活動)	37	11.3%
無回答	31	9.5%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。